

【法蔵館文庫】

女の力

古代の女性と仏教

にしぐち じゅんこ

西口順子著

▼文庫判・並製カバー・288頁・定価 一、四三〇円

2025年8月刊行



古代から中世日本において、女性たちはいかに仏に心を寄せ、寺に詣で、僧を頼んで祈ったのか。女性と仏教のかかわりの歴史を丹念に考察する。

【目次】

序 女の生死

第一章 仏法と忌み

- 一 女性の忌み／二 神齋と仏事／三 咎と祓／同衾の忌み／四 血の忌みと山／五 仏法と忌み／六 出産と僧

第二章 骨のゆくえ

- 一 死と葬送と墓／二 二十五三昧／三 骨のゆくえ／四 開山の周辺／五 女性開基の寺

第三章 山・里・女人

- 一 転女成仏―後生への祈り―／二 女性の出家／三 女人禁制／四 結界の構造／五 里坊の営み／六 里坊の宗教的性格／七 別所―母と妻の終の住処―／八 寺辺の尼／九 尼の止住／十 参詣と宿泊

第四章 僧の「家」

- 一 僧の家族／二 僧の妻帯と世襲／三 寺家と妻／四 息子の僧

第五章 王朝の巫女

- 一 巫女と僧／二 妖言の罪／三 王朝の巫女／四 巫女の託宣／五 巫女と王朝仏教

あとがき

図版一覧

文庫版あとがき

【著者略歴】

西口順子(にしぐち じゅんこ)

一九三六年京都市に生まれる。一九五九年京都女子大学文学部卒業。現在、相愛大学名誉教授。主要編著に、『シリーズ女性と仏教』(天隅和雄と共編 平凡社、一九八九年)、『中世を考える 仏と女』(編著、吉川弘文館、一九九七年)、『平安時代の寺院と民衆』(法蔵館、二〇〇四年)、『蓮如と女性』(神田千里編『日本の名僧 民衆の導師蓮如』、吉川弘文館、二〇〇四年)。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
西口順子著	
法蔵館 定価 一、四三〇円	
女の力 古代の女性と仏教	
【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2704-3 C1121	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・仏教・女性史